

県立高等学校教育改革第二次実施計画の推進について

特色ある専門学科の設置

(対象校及び学科) 県立豊岡高等学校 理数科(仮称)

県立鳴尾高等学校 国際文化情報学科(仮称)

(設置年度) 平成23年度(平成23年4月)

小規模校及び分校の在り方

1 全学年1学級の小規模校の在り方

(対象校) 県立家島高等学校

(方向性) 平成23年度から特色ある新たな類型を設置

2 分校の在り方

(対象校) 県立篠山産業高等学校東雲校及び丹南校

(方向性) 東雲校は平成23年度から特色ある専門高校として独立

丹南校は平成26年度から募集停止

平成23年度入学者選抜における複数志願選抜に係る第1志望加算点

1 平成23年度に新たに導入する学区

(西播学区) 35点

2 平成22年度までに導入した学区

(尼崎学区、西宮学区、明石学区) 15点

(宝塚学区、伊丹学区) 20点

(神戸第三学区、加印学区、姫路・福崎学区) 25点

(神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区) 30点

(北播学区) 35点

県立西宮高等学校の単位制への改編に伴う基本計画

阪神地域の新しい多部制単位制高等学校及び高等特別支援学校の基本計画

県立高等学校におけるコースの募集停止

(対象校及びコース) 県立明石清水高等学校 自然科学系コース

県立赤穂高等学校 自然科学系コース

(募集停止時期) 平成23年度入学者選抜から

特色ある専門学科の設置

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、専門性の高い学びを実践しているコースを改編し、専門学科を設置する。

対 象 校	県立豊岡高等学校
設 置 学 科	[現 行] 普通科 自然科学系コース 1 学級 ⇒ [改編後] 理数科（仮称）1 学級
設 置 年 度	平成 2 3 年度（平成 2 3 年 4 月）
改 編 内 容	【学科の目標】 高い志と優れた倫理観をもち、科学的知識と先端の技術を活用し、地域社会に貢献するとともに、我が国の発展に尽くす人材を育成する。 ・ 確かな学力に基づいた科学的思考力をもつ人材の育成 ・ 地域に学びつつ、国際的視野を培う人材の育成 ・ 豊かな人間性と優れた倫理観を備え、社会に貢献できる人材の育成 【特色ある教育活動】 ・ 地域の先端研究施設、企業との連携により地域の価値を学ぶ体験学習の実施 ・ 科学技術関係施設における研修の実施及び大学との連携事業の実施 ・ e - ラーニングを活用した先進的な機関や学校との連携事業の実施 【特色ある専門科目（予定）】 「自然科学探究」、「数理情報」、「アドバンスサイエンス」 「理数数学」、「理数数学」、「理数化学」、「理数物理」、「理数生物」 【募集方法等】 推薦入学（募集定員の全部） 通学区域は、県下全域 【備考】 平成 18 年度～平成 22 年度 文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール」の研究指定

対 象 校	県立鳴尾高等学校
設 置 学 科	[現 行] 普通科 国際文化系コース 1 学級 ⇒ [改編後] 国際文化情報学科 (仮称) 1 学級
設 置 年 度	平成 2 3 年度 (平成 2 3 年 4 月)
改 編 内 容	【学科の目標】 英語の高度な運用能力を培うとともに、グローバル化した国際社会の文化、歴史、環境等の情報を収集し、主体的に活用する能力や社会事象を分析する能力、高いプレゼンテーション能力を備えた、国際社会で活躍できる人材を育成する。 【特色ある教育活動】 ・ レシテーション・スピーチコンテスト、ディベートの実施 ・ 海外でのフィールドワークの実施 ・ 国際文化交流、海外語学研修、異文化理解講演会の実施 【特色ある専門科目 (予定)】 「英語多読」, 「国際情報演習」, 「国際社会と人間生活」, 「国際文化」, 「国際見聞」, 「課題研究」 【募集方法等】 推薦入学 (募集定員の全部) 通学区域は、県下全域

小規模校及び分校の在り方

1 全学年 1 学級の小規模校の在り方

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、すべての学年が 1 学級の小規模校である県立家島高等学校については、地域の自然環境や教育資源を活用した特色ある教育活動を展開することにより、将来の地域づくりの担い手を育成するという観点から、特色ある新たな類型を設置し本校として存続する。

対 象 校	県立家島高等学校													
特色ある類型の設置	【 3 類型の設置】 平成 2 3 年度入学生から、海と科学類型、海と人間類型、トータルキャリア類型の 3 類型を設置する。すべての類型において、県立いえしま自然体験センターや家島 B & G 海洋センター等と連携した特色ある授業を実施する。 【各類型の特色】 海と科学類型 ・水産系、海洋系、生物系等への進学を目指す ・特色ある科目として、「海洋科学」「海の生物」「海洋スポーツ」「数学探究」「課題探求」等を設置 海と人間類型 ・環境系、人間科学系、社会系等への進学を目指す ・特色ある科目として、「環境科学」「健康福祉科学」「英語探究」「地域社会」「海洋スポーツ」「海洋科学」「課題探求」等を設置 トータルキャリア類型 ・商業及び情報の検定や船舶免許の取得、介護・福祉体験等を生かした就職を目指す ・特色ある科目として、「簿記」「情報処理」「ビジネス基礎」「海洋スポーツ」「航海・計器」「社会福祉基礎」「マナー講座」等を設置													
選 抜 方 法	平成 2 3 年度入学者選抜から、海と科学類型及び海と人間類型において特色選抜を実施し、募集定員及び通学区域については特例を適用する。トータルキャリア類型は、複数志願選抜による学力検査で募集する。 <table border="1"> <tr> <th>区分</th><th>特色選抜（特例の適用）</th><th>学力検査（複数志願選抜）</th></tr> <tr> <td>実施時期</td><td>2 月中旬</td><td>3 月中旬</td></tr> <tr> <td>募集定員</td><td>募集定員の 50%</td><td>募集定員から特色選抜による合格者を引いた人数</td></tr> <tr> <td>通学区域</td><td>県下全域</td><td>姫路・福崎学区</td></tr> </table>		区分	特色選抜（特例の適用）	学力検査（複数志願選抜）	実施時期	2 月中旬	3 月中旬	募集定員	募集定員の 50%	募集定員から特色選抜による合格者を引いた人数	通学区域	県下全域	姫路・福崎学区
区分	特色選抜（特例の適用）	学力検査（複数志願選抜）												
実施時期	2 月中旬	3 月中旬												
募集定員	募集定員の 50%	募集定員から特色選抜による合格者を引いた人数												
通学区域	県下全域	姫路・福崎学区												
地域の小中学校等との連絡	地域の小中学校（家島中学校、坊勢中学校、家島小学校等）への出前授業や中高授業研究会を実施するとともに、中高合同部活動練習会や地域清掃活動を行うなど、地域と連携した教育活動を展開する。													

2 分校の在り方

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、県立篠山産業高等学校の2分校の在り方については、小規模校として存続する必要性、学区内の生徒数や本校及び近隣校との学級数のバランスを考慮し、次のとおりとする。

対象校（対象学科）	県立篠山産業高等学校東雲校（農業に関する学科）
方 向 性	特色ある専門高校として独立校に改編
改 編 時 期	平成23年度（平成23年4月）から
改 編 内 容 等	【学科の名称】 地域農業科（仮称） 【学科の目標】 ・ 生産（ものづくり）や飼育を通して、地域課題の解決に積極的に取り組む姿勢を身につけ、地域社会や産業の発展を担い地域に貢献できる人材を育成する。 【特色ある教育活動】 ・ 興味関心、進路希望に応じた5つの類型の設置 （作物機械類型、ふるさと特産類型、野菜園芸類型、生物利用類型、生活環境類型） ・ 大学や研究機関、地元農家等と連携した特産物の研究 ・ 地元農家や施設での農業実習 【特色ある科目（予定）】 「稲作経営」、「特産物工学」、「生活教養」、「実用英語」、「実用数学」、「日本の文化」、「ボランティア実践」 【募集方法等】 推薦入学（募集定員の50%以内） 学力検査（募集定員から推薦入学による合格者を引いた人数） 通学区域は、どちらも県下全域 【その他】 通学困難な生徒が地域の農家から通学する農村留学制度の実施

対象校（対象学科）	県立篠山産業高等学校丹南校（普通科）
方 向 性	募集を停止し本校に統合
募集停止時期	平成 2 6 年度の入学者選抜から
募集停止後の 設置学年	平成 2 6 年度 第 2 学年 第 3 学年 平成 2 7 年度 第 3 学年 （平成 2 8 年 3 月 3 1 日閉校）
募集停止後の 在籍生徒の 取扱い等	在籍生徒については、平成 2 6 年度は丹南校で学ぶ。平成 2 7 年度学ぶ学校については、関係者の意向を踏まえ、平成 2 6 年度中に決定する。 今後、本校と連携しながら学校行事、部活動等、教育活動の活力を維持する方策を検討する。
募集停止後の 学びの継承	県立篠山産業高等学校や独立する東雲校において、里山文化等の環境教育の取組を生かす。

平成 2 3 年度入学者選抜における複数志願選抜に係る第 1 志望加算点

1 平成 2 3 年度に新たに導入する学区

西播学区における第 1 志望加算点

「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、生徒がそれぞれの学校の特色や自分の適性・進路希望等に応じて学びたい学校が選択できるよう、複数志願選抜を平成 2 3 年度から西播学区へ導入することを昨年 3 月に発表したところであるが、平成 2 3 年度入学者選抜における西播学区での第 1 志望加算点については、受検生の志願状況や学校選択肢の確保などの観点から、次のとおりとする。

西 播 学 区	第 1 志望加算点 3 5 点
---------	-----------------

2 平成 2 2 年度までに導入した学区

神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、神戸第三学区、尼崎学区、西宮学区、宝塚学区、伊丹学区、明石学区、加印学区、北播学区、姫路・福崎学区における第 1 志望加算点

平成 2 3 年度入学者選抜における、神戸第三学区、尼崎学区、西宮学区、伊丹学区、明石学区、加印学区、北播学区、姫路・福崎学区での第 1 志望加算点は、平成 1 5 年度から平成 2 1 年度の結果をみると、第 1 志望加算点が有効に働いていることから、平成 2 2 年度と同じとする。

また、平成 2 3 年度入学者選抜における、神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区、宝塚学区での第 1 志望加算点についても、平成 2 2 年度と同じとする。

北播学区	第 1 志望加算点 3 5 点
神戸第一・芦屋学区、神戸第二学区	第 1 志望加算点 3 0 点
神戸第三学区、加印学区、姫路・福崎学区	第 1 志望加算点 2 5 点
宝塚学区、伊丹学区	第 1 志望加算点 2 0 点
尼崎学区、西宮学区、明石学区	第 1 志望加算点 1 5 点

県立西宮高等学校の単位制への改編に係る基本計画

改 編 年 度	平成 2 3 年度に全日制の単位制高等学校に改編する。
学 校 規 模	1 年次 8 学級程度（募集定員は平成 2 2 年度に決定し発表）
設 置 学 科	普通科、音楽科
特色あるさまざまな学びの展開	生徒一人ひとりの持つ可能性を伸ばし、夢と希望を実現するために、特色あるさまざまな学びの展開と、系統的・総合的な指導を行う。 【生徒の興味・関心、能力等に対応した科目設置等の「多様な学び」】 - 生徒の興味・関心等に対応した多様な科目や特色ある科目を設置する。 - 生徒の能力等に対応して、習熟度別授業・少人数授業・複数教師による授業等のきめ細やかな指導を行う。 【普通科目に加えて専門的な科目も学べる「幅広い学び」】 - 生徒の幅広い進路希望に対応するため、普通教科の科目に加えて国際経済・第 2 外国語・先端科学・音楽等の専門的な科目を選択科目として設置する。 - 国際経済の専門科目については、2・3 年次で系統的に選択することが可能であり、簿記や情報処理等の資格取得を目指すこともできる。 - 普通科と音楽科の枠をこえて選択できる自由選択科目を設置する。 【自ら考える力を育成し課題解決能力を向上させる「探究的な学び」】 - 普通科では全生徒が 3 年次に「人文科学課題研究」「社会科学課題研究」「自然科学課題研究」「国際経済課題研究」のいずれかを選択し、課題研究に取り組む。 【大学・企業・研究機関との連携や海外研修等による「意欲を高める学び」】 - 社会人講師を活用した講座や大学・企業・研究機関との連携講座を設置する。 - オーストラリア海外研修やヨーロッパへの音楽研修旅行を実施する。 【系統的なキャリア教育と総合的な進路指導による「未来への学び」】 「リサーチ・」（総合的な学習の時間）を中心に、自己理解、職業の研究、学部・学科の研究、インターンシップの実施等により、生きる力を育み、個性を生かすための系統的なキャリア教育を実施する。 - 生徒が科目選択をしながら将来の進路を設計できるよう、各科目のシラバスを作成し、適切なガイダンスを実施する。 【音楽科における音楽文化の発展に寄与する人材育成を目指した「専門的な学び」】 「専攻実技（声楽、器楽、作曲）」「ソルフェージュ」「音楽史」等の専門科目を設置し、幅広い教養と専門的な知識・技術が調和した教育を実施する。 - 専門家による特別レッスンや音楽コンクールへの積極的な参加等、スペシャリストの育成を目指した取り組みを進める。
特色ある専門科目や選択科目等	【人文・社会科学系の科目】 「世界史研究」「日本史研究」「国際事情」「総合英語」等 【国際経済系の科目】 「会計」「国際経済」「経営学基礎」「商品開発」「フランス語」「中国語」等 【自然科学系の科目】 「総合数学」「探究物理」「科学実験」「生命工学」等 【芸術・体育・家庭系の科目】 「和楽器演奏」「文字学」「デザイン総合」「生涯体育」「ライフデザイン」等
その他の魅力ある教育活動	県立芦屋高等学校との定期戦、幼児・児童との交流演奏会、地域清掃活動、リーダー育成研修会、学習マラソン等の魅力ある教育活動を実施する。

阪神地域の新しい多部制単位制高等学校及び高等特別支援学校の基本計画

学校の概要

	多部制単位制高等学校	高等特別支援学校
開校時期	平成 24 年 4 月	
設置場所	伊丹市池尻（旧県立武庫荘高等学校跡地）	
学 科	普通科	職業科
修業年限	3 年以上	3 年
学 期	前期・後期の 2 学期制	前期・後期の 2 学期制
課 程	定時制課程（ 3 部制 ） 単位制	
募集定員	1 学年 6 学級程度。各部の募集定員については平成 23 年度に公表	1 学年 6 学級（ 48 人 ）

多部制単位制
高等学校の特色

1 多様な科目を設置する教育課程

・ 普通科の科目以外に、職業教育に関する科目やコミュニケーション能力を高める科目、大学や近隣の高等学校と連携した科目、高等特別支援学校と共に学ぶ科目など、生徒の学びのニーズに対応した多様な科目を設置する。

2 多様な入学者選抜

・ 既設の多部制単位制高等学校と同様に、以下の方法で実施する。

区 分	実施時期	募集割合	出願資格の区分	選抜の内容
期試験	3 月中旬	1・2 部 60% 3 部 70%	中学校卒業見込み者 及び中学校既卒者	面接・作文
期試験 A	3 月下旬	1・2 部 20% 3 部 10%	期試験に同じ	学力検査 面接
期試験 B	3 月下旬	各部 15%	転・編入希望者	募集要項で公表
期試験	9 月下旬	各部 5%	中学校既卒者等又は 転・編入学希望者	募集要項で公表

具体的な入学者選抜方法については、平成 24 年度入学者選抜要綱及び募集要項で公表する。

3 その他の特色

【生徒のライフスタイル等に合わせた履修形態】

・ 1 部（午前）、2 部（午後）、3 部（夜間）の 3 つの部を設置し、各部とも 1 日 4 時間の授業を実施する。

・ 原則として所属する部における教科・科目を週 20 時間履修する。ただし、所属する部以外の部の科目履修も可能とする。（原則 10 単位以下）

・ 遠距離通学者への配慮として、平成 25 年度から、3 部に 1 日 3 時間の履修に加え学校外の単位（定通併修等）を認定することにより 4 年間で卒業可能な新たな履修形態を設置する。

時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1 部 (午前)												
2 部 (午後)												
3 部 (夜間)												

新たな履修形態

【特別支援学校と連携した支援体制の整備】

・ 高等特別支援学校との連携により、発達障害への対応等の専門的な支援を可能とする体制を整備する。

【川西教室、宝塚教室の設置（平成 24～26 年度）】

・ 平成 24～26 年度の 3 年間、県立川西高等学校と同宝塚良元校内に、多部制単位制高校 3 部における川西教室と宝塚教室を設置する。

・ 本校と両教室のいずれで学ぶかについては、受検時に希望を聞いた上で、各入学生の事情等を踏まえて決定する。

・ 単位制のシステムをとり、本校の 1 部・2 部の科目を履修することも可能とする。また、2 年次以降本校で学ぶことも可能とする。

高等特別支援 学校の特色	1 職業教育を主とした教育課程 ・ 軽度知的障害のある生徒を対象に、企業就労を目指し職業教育を主とした教育課程を編成する。 ・ 教科等を合わせた指導として「職業生活」を実施する。 〔基礎分野〕国語、社会、数学、道徳 〔技能分野〕理科、家庭、職業、自立活動 〔情報分野〕情報 〔充実分野〕音楽、美術、保健体育 【社会や産業構造のニーズに対応した3つのコースの設置】 〔食品加工・農園芸コース〕 ・ 食品加工や販売の分野への就労をめざして、パンやクッキー・弁当等の製造・加工・包装から販売活動までの実践的な学びや、野菜の栽培や花壇の管理等の農業体験を通して、職業観や勤労観を培う。 〔福祉・介護コース〕 ・ ガイドヘルパー等への福祉・介護分野への就労をめざして、施設における介護実習を取り入れるなど実践的な学びを行う。 〔流通・サービスコース〕 ・ 流通やサービスの分野への就労をめざして、印刷等のオフィスサービス、接客、ビルメンテナンス等の実践的な学びを行う。 【総合的な学習の時間を活用したチャレンジタイムの設定】 ・ 地域の清掃や就職セミナー、進学に向けたガイダンス、資格・検定の取得等、総合的な学習の時間を活用した様々な活動を実施する。 【オンザジョブトレーニングの重視】 ・ 地域の企業と連携して職場実習先を確保し、職業自立に必要な知識・技能を身につけるとともに、企業への就労に結びつける。 2 学校の特色や生徒の状況を踏まえた入学者選考 ・ 入学を希望する生徒に対しては、学校説明会（6月予定）、入学相談（7月を予定）、体験入学（10月を予定）を経た上で入学者選考を行う。
多部制単位制 高等学校と 高等特別支援 学校との交流 及び共同学習	1 併設による交流及び共同学習の意義 ・ 併設のメリットを生かし、可能な限り2つの学校を1つの学校として運営する中で、ノーマライゼーションの進展という理念を生かすことができる。 ・ これまでの交流という側面をこえ、どちらの学校の生徒にとっても教育効果のある「共に学ぶ教科・科目」を設定することで、豊かな人間性を育むことが可能となる。 ・ 交流及び共同学習において、助け合ったり、時には人間関係のトラブル等も乗り越えたりする経験を経て、両校の生徒がお互いを理解し信頼していく。 2 交流及び共同学習の方法 【日常生活の中や学校行事等での交流】 ・ 通学時や昼食時など日常的な生活や、両校が共同で実施する学校行事や生徒会活動、特別活動等の中で、両校の生徒の自然な触れあいや交流を図る。 【「共に学ぶ教科・科目」の設定】 ・ 「共に学ぶ教科・科目」を設定する際には、次の～の方法が考えられ、今後具体の検討を進める。 両校の教育課程の中に「共に学ぶ教科・科目」を位置づけ、すべての生徒が年間を通して学ぶ。その際には、実体験を伴う教育内容を工夫する。（芸術、体育、情報、家庭等） 多部制単位制高等学校の特色ある選択科目を、高等特別支援学校の生徒が選択し、年間を通して学ぶ。（教養的・基礎的内容等の学校設定科目等） 高等特別支援学校における職業教育や、ソーシャルスキルトレーニング、職場実習等に、多部制単位制高等学校の希望する生徒も参加する。 （総合的な学習の時間、インターンシップ等） 3 「共に学ぶ教科・科目」の設定にあたっての今後の検討課題 ・ 今後、「共に学ぶ教科・科目」の設定方法や教育内容を具体的に検討するとともに、両校の教育課程上の位置づけや、評価方法、履修及び単位認定のあり方、両校の教員の関わり及び支援のあり方、両校の生徒の特性の違いへの配慮等の課題について検討を進める。

県立高等学校におけるコースの募集停止

生徒の希望状況や学校の将来構想を踏まえ、次の学校の自然科学系コースについては募集を停止する。

対 象 校	県立明石清水高等学校 県立赤穂高等学校
対 象 コ ー ス	自然科学系コース
募集停止時期	平成 2 3 年度の入学者選抜から
今後の取り組み	従来の自然科学系コースにおける学習内容は教育課程編成の上で工夫するとともに、平成 2 3 年度からの特色選抜の実施を検討する。